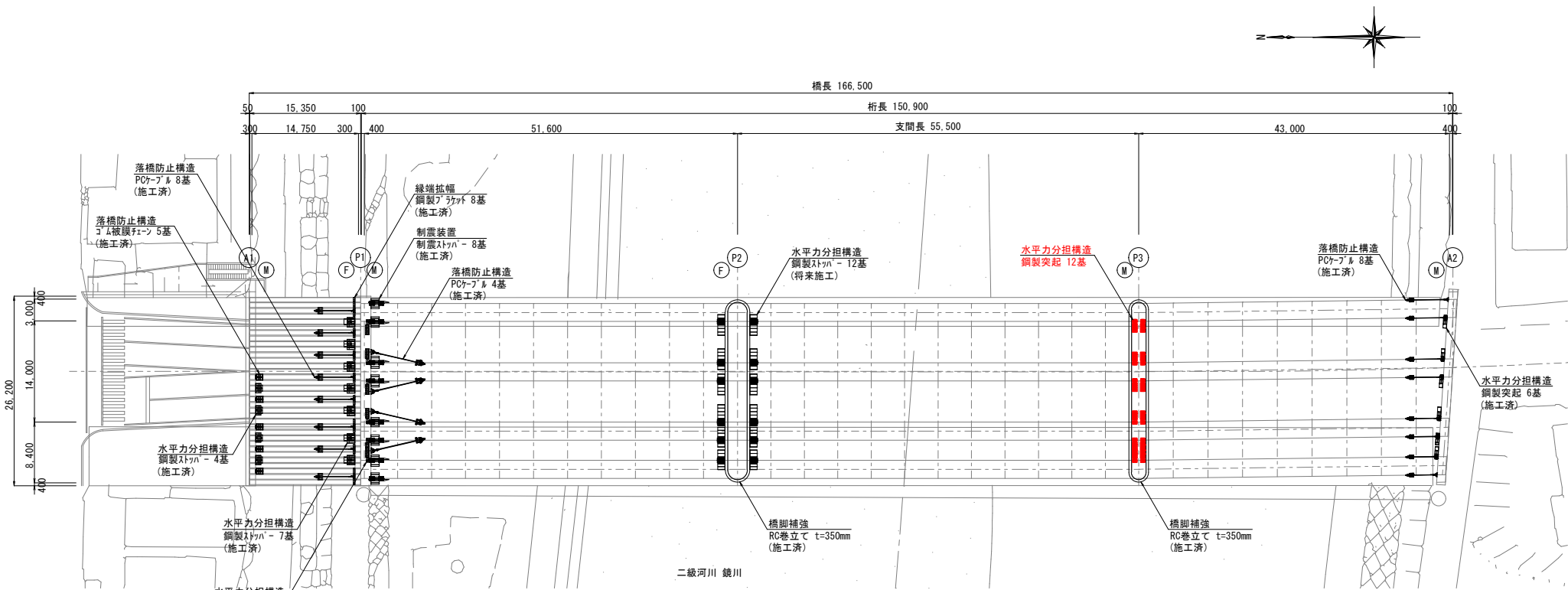
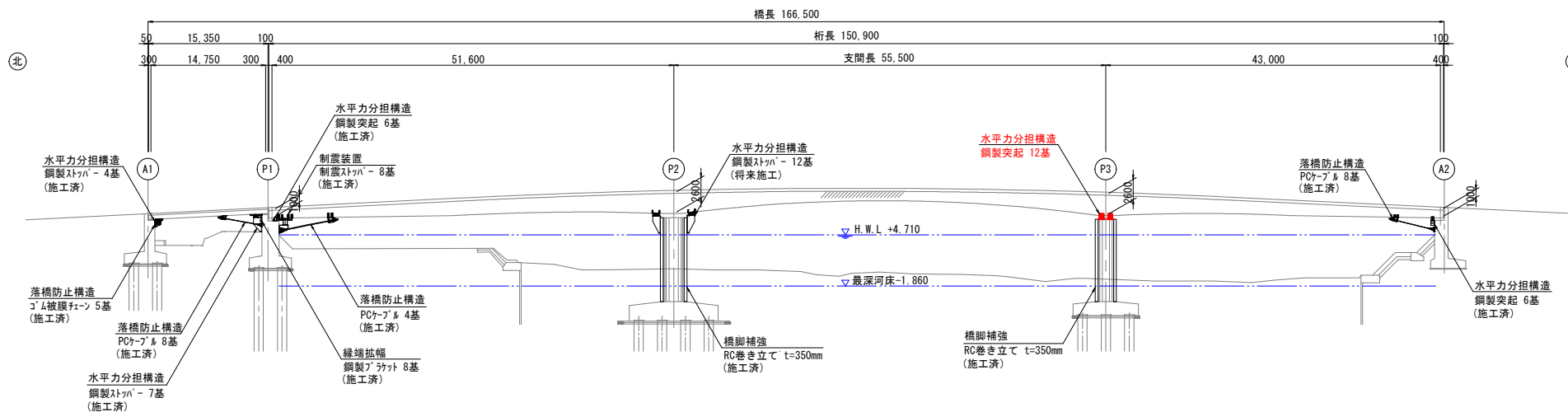


橋梁耐震補強工一般図

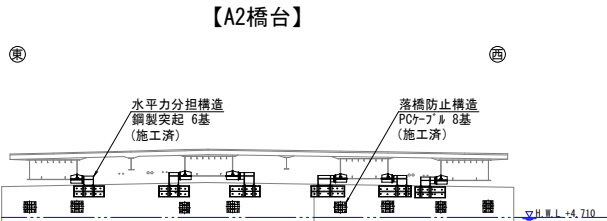
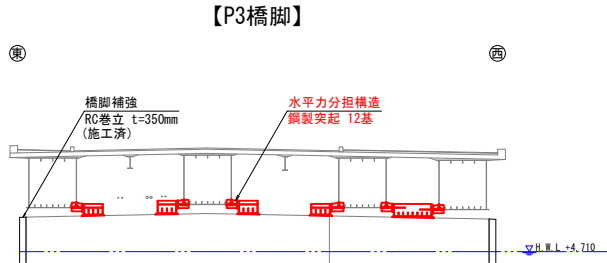
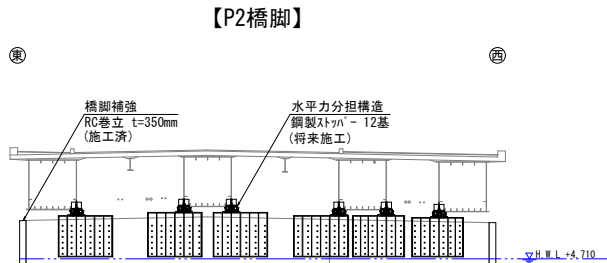
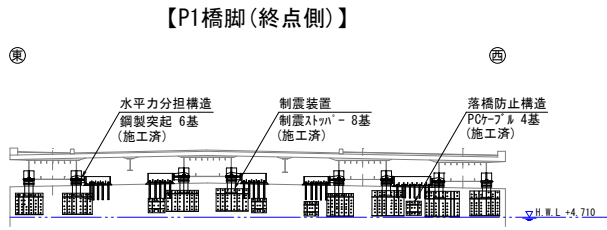
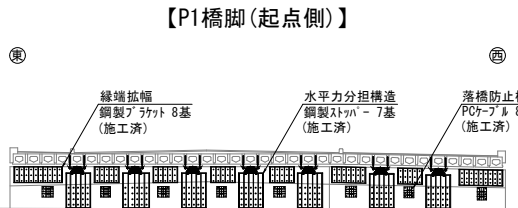
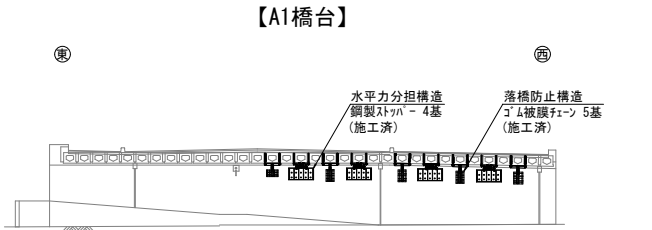
平面図
S=1:400



側面図
S=1:400



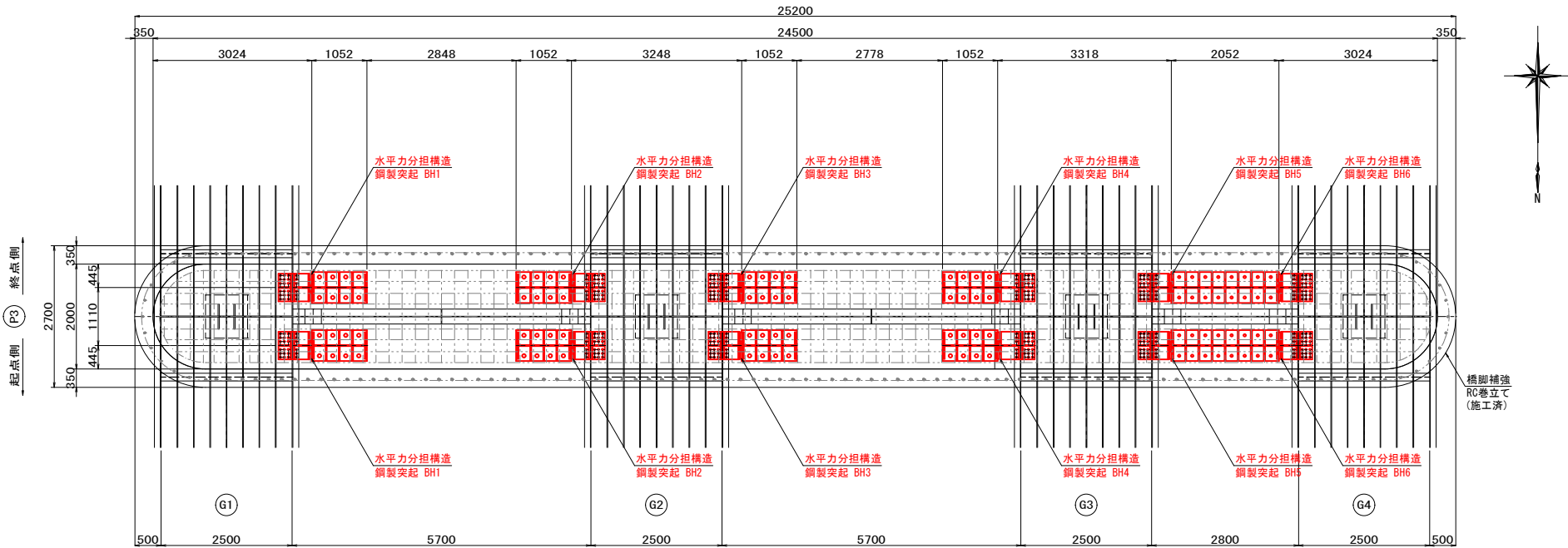
正面図
S=1:200



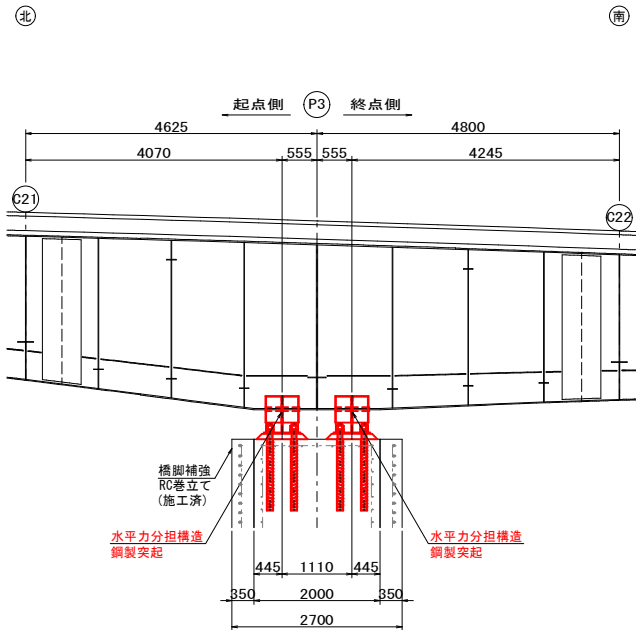
工 事 名	月の瀬橋耐震補強工(その3)				
種 別	橋梁耐震補強工一般図				1/6
事 業 名	道路事業	課長	課長補佐	係長	設計
令和7年度					
高知市 都市建設部 道路整備課					

【P3橋脚】水平力分担構造 配置図

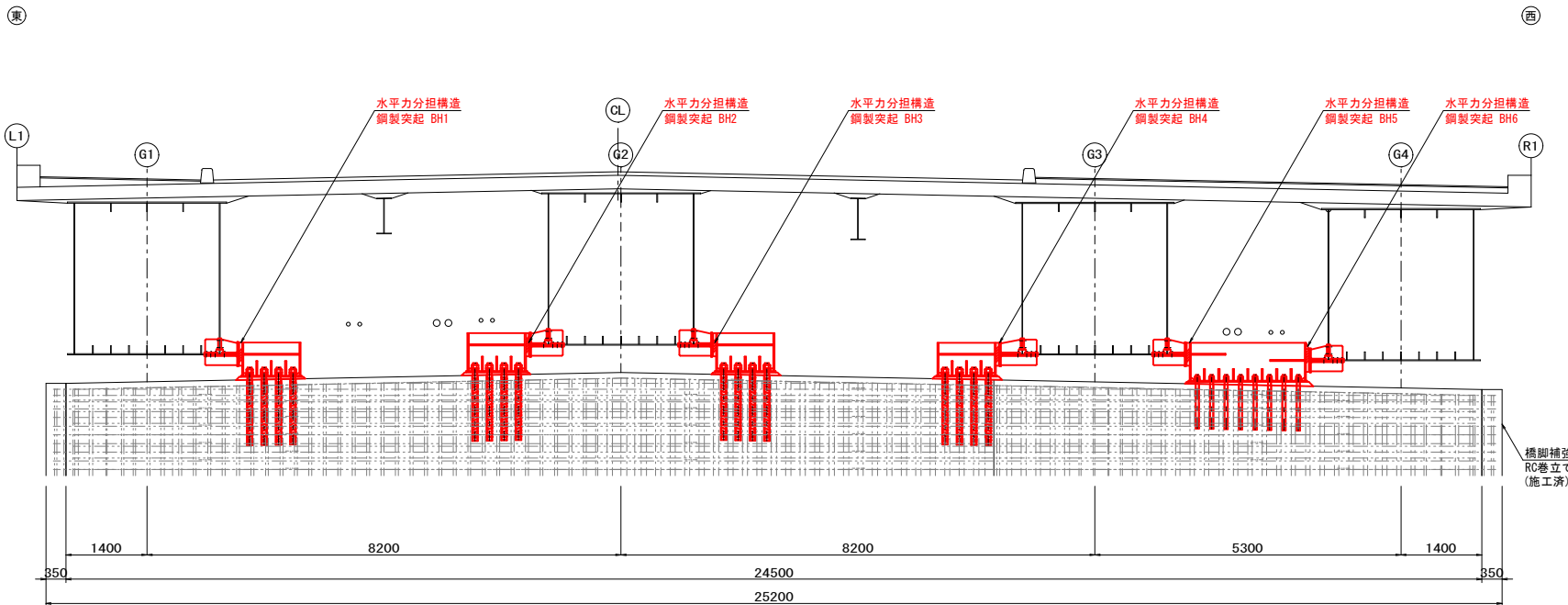
平面図
S=1:60



側面図
S=1:60



正面図
S=1:60



注記
1. 図中詳細寸法は、足場架設後に現地実測の上決定のこと。
2. 下部工側は鉄筋探査を行い、既設鉄筋を切断しないように留意すること。
3. 既設構造物寸法形状は、工事に先立ち再計測・再確認を必ず実施し、工事に反映すること。
4. 製作は現地計測確認の上行うこと。

工 事 名	月の瀬橋耐震補強工事(その3)				
種 別	【P3橋脚】水平力分担構造 配置図				2/6
事 業 名	道路事業	課長	課長補佐	係長	設計
令和7年度					
高知市 都市建設部 道路整備課					

【P3橋脚】 水平力分担構造 詳細図(鋼製突起 上部エブラケット)

BH1 + BH3 + BH5
S=1:1

$$\frac{\text{BH}_2 \cdot \text{BH}_4 \cdot \text{BH}_3}{S=1:1}$$

【A-A】

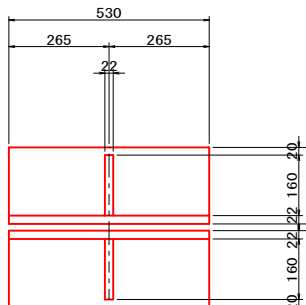
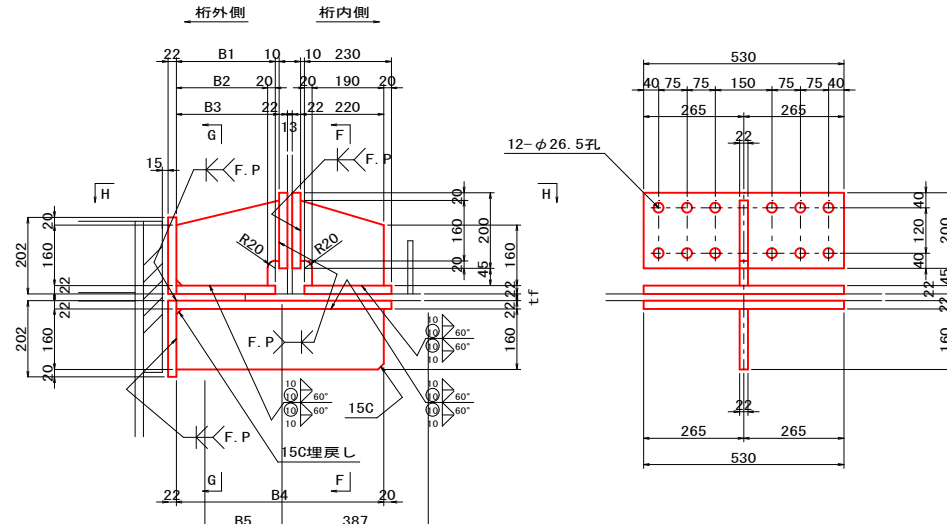
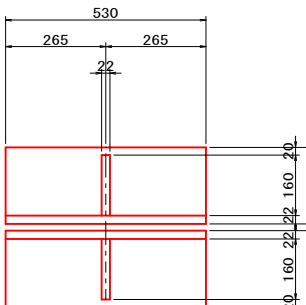
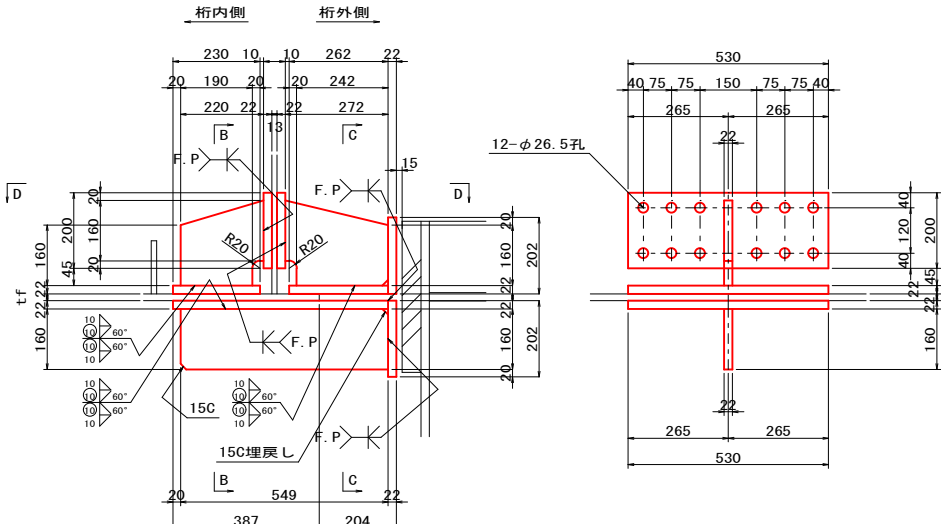
【B-B】

【C-C】

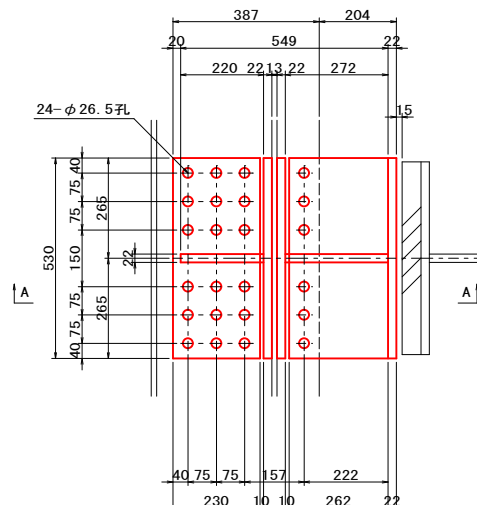
【E-E

【F-F

【G-G】



【D-D】



【1基当たり材料(製作数:6)

1-PL	200x22x	530
1-PL	230x22x	530
1-PL	225x22x	220

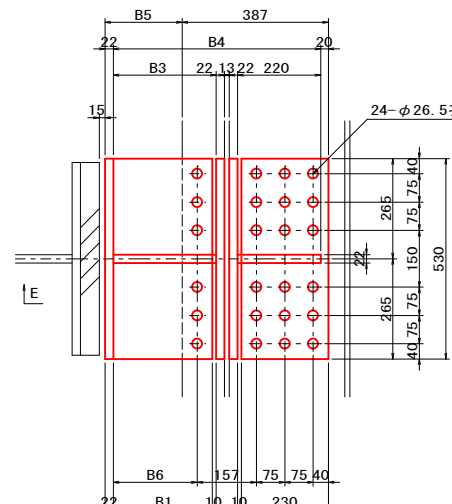
1-PL	200x22x	530
1-PL	262x22x	530
1-PL	225x22x	272
1-PL	202x22x	530

1-PL	569x22x	530
1-PL	160x22x	549
1-PL	202x22x	530

12-TCB M22x 95 (S107)

	tf	ll
BH1	18	100
BH3	16	95
BH5	16	95

【H-H



【1基当たり材料(製作数:6

1-PL	200x22x	530
1-PL	230x22x	530
1-PL	225x22x	220

1-PL	200x22x	530
1-PL	b1x22x	530
1-PL	225x22x	b2
1-PL	202x22x	530

1-PL	b3x22x	530
1-PL	160x22x	b4
1-PL	202x22x	530

12-TCB M22x 95 (S10T)
24-TCB M22x 95 (S10T)

	tf	B1	B2	B3	B4	B5	B6	b1	b2	b3	b4
BH2	16	262	242	272	549	204	222	262	272	569	549
BH4	16	332	312	342	619	274	292	332	342	639	619
BH6	15	262	242	272	549	204	222	262	272	569	549

注

1. 特記なき材質は全てSM400Aとする。
2. 特記なきスカラーップは全てR35とする。
3. 中 印はトルシヤ形高力ボルトM22(S10T)を示す。
4. 既設構造物寸法形状は、工事に先立ち再計測・再確認を必ず実施し、工事に反映すること。
5. 製作は現地計測確認の上行うこと。

工 事 名	月の瀬橋耐震補強工事(その3)				
種 別	【P3橋脚】水平力分担構造 詳細図(鋼梁突起 上部工ブラケット)				3 パ
事 業 名	道路事業	課長	課長 補佐	係長	部
令和7年度					
高知市 都市建設部 道路整備課					

【P3橋脚】 水平力分担構造 詳細図 (鋼製突起 下部エブラケット)

BH1～BH4
S=1:15

【A-A】

【B-B】

【C-C】

BH5・BH6
S=1:15

【A-A】

【B-B】

【C-C】

【D-D】

【D-D】

【E-E】

【E-E】

【G-G】

アンカーボルト詳細図
S=1:10

緩衝材詳細図
S=1:5

アンカーボルト詳細図
S=1:10

緩衝材詳細図
S=1:5

	H1	H2	H3	h1	t1	t2
BH1	570	370	109	570	54.1	31.9
BH2	655	455	194	655	53.1	30.9
BH3	655	455	194	655	30.9	53.1
BH4	565	365	104	565	33.5	55.7

【1基当たり材料(製作数:8)】

- 2-PL 510x22x h1 (SM490YB)
- 1-PL h1x22x 968 (SM490YB)
- 2-PL 220x22x 968 (SM490YB)
- 1-PL 590x22x1052 (SM490YB)
- 6-PL 250x22x 264 (SM490YB)

- ※1-緩衝ゴム 400x50x510 (パッドレンガ相当品 硬度55° ±5°)
- 4-BN M16x70 (2-W付) (SS400)
- 8-Anc Bolt D75x1330 (S35CN)
- 8-RB φ6x5470 (SR235)
- 8-1種 Nut M72用 (S35CN)
- 8-3種 Nut M72用 (S35CN)
- 8-Washer M72用 (SS400)

【1基当たり材料(製作数:2)】

- 2-PL 510x22x 655
- 1-PL 655x22x1968
- 4-PL 220x22x 750
- 1-PL 590x22x2052
- 14-PL 200x22x 264
- ※2-緩衝ゴム 400x50x510 (パッドレンガ相当品 硬度55° ±5°)
- 8-BN M16x70 (2-W付) (SS400)
- 16-Anc Bolt D51x950 (SD345)
- 16-1種 Nut M48用 (SS400)
- 16-3種 Nut M48用 (SS400)
- 16-Washer M48用 (SS400)

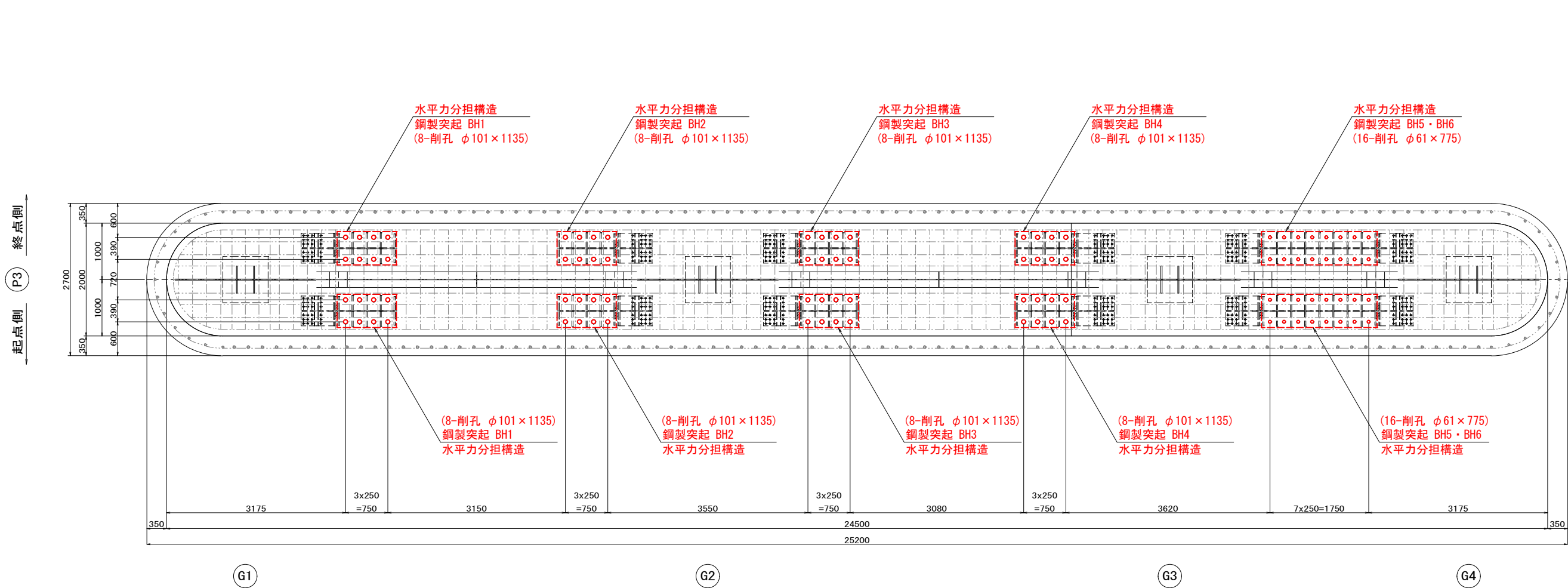
注記

- 特記なき材質は全てSM490YAとする。
- 特記なきスカーラップは全てR50とする。
- ※部材以外は全て溶融亜鉛メッキとする。
垂鉛の付着量は JIS H8641 HDZ55とする。但し、ボルト・ナットはHDZ35とする。
- 既設構造寸法形状は、工事に先立ち再計測・再確認を必ず実施し、工事に反映すること。
- 製作は現地計測確認の上行うこと。

工事名	月の瀬橋耐震補強工事(その3)				
種別	【P3橋脚】 水平力分担構造 詳細図 (鋼製突起 下部エブラケット)				4/6
事業名	道路事業	課長	課長 補佐	係長	設計
令和7年度					
高知市 都市建設部 道路整備課					

【P3橋脚】アンカーボルト 削孔図

平面図
S=1:40



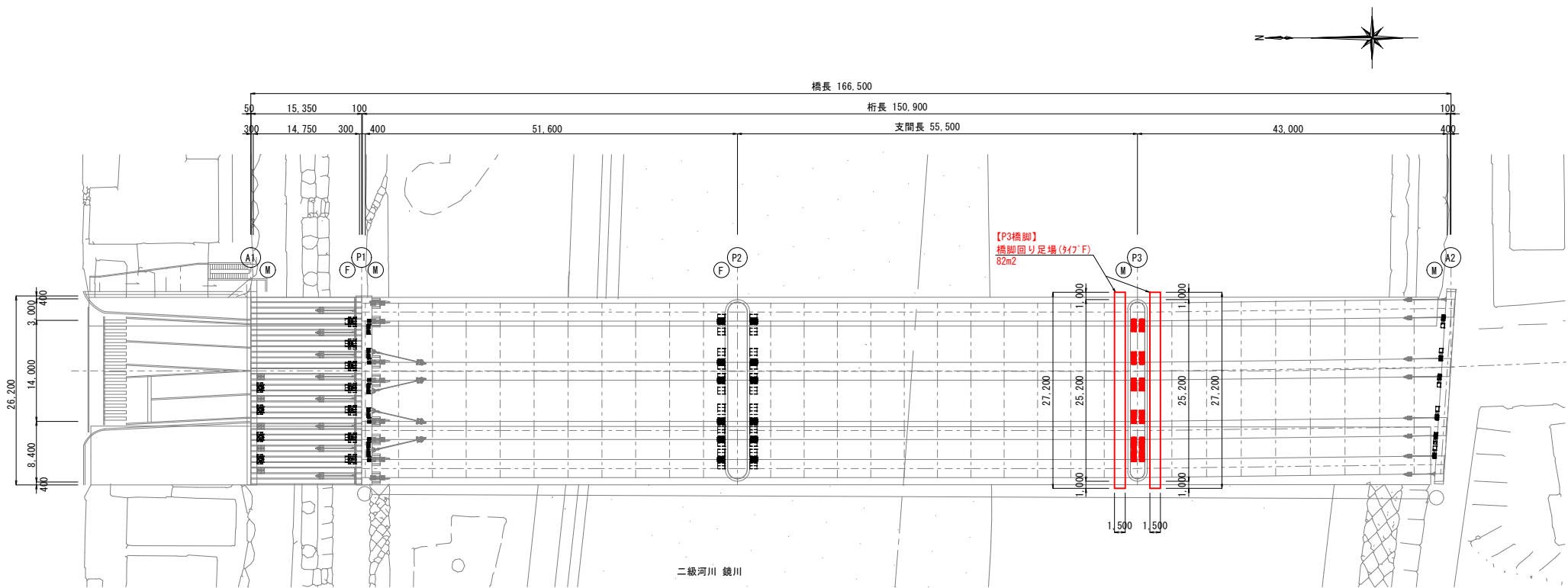
注記
1. アンカー削孔前に鉄筋探査を行い、既設鉄筋を切切断しないように留意すること。
2. 既設構造物寸法形状は、工事に先立ち再計測・再確認を必ず実施し、工事に反映すること。

工 事 名	月の瀬橋耐震補強工事(その3)				
種 別	【P3橋脚】アンカーボルト 削孔図				5 / 6
事 業 名	道路事業	課長	課長 補佐	係長	設計
令和7年度					
高知市 都市建設部 道路整備課					

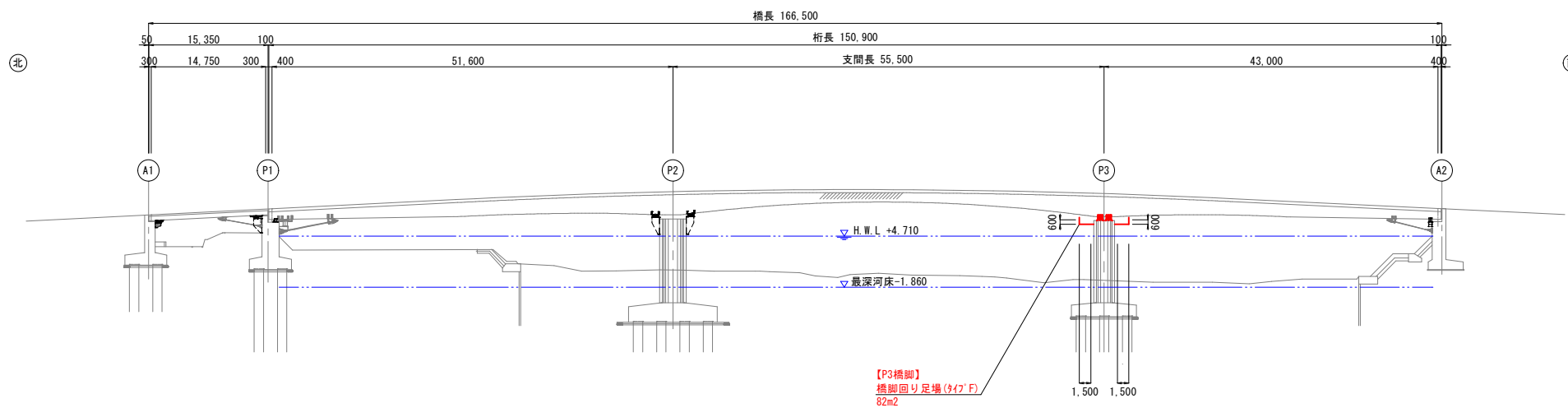
仮設工図(参考)

【足場工】

平面図
S=1:400

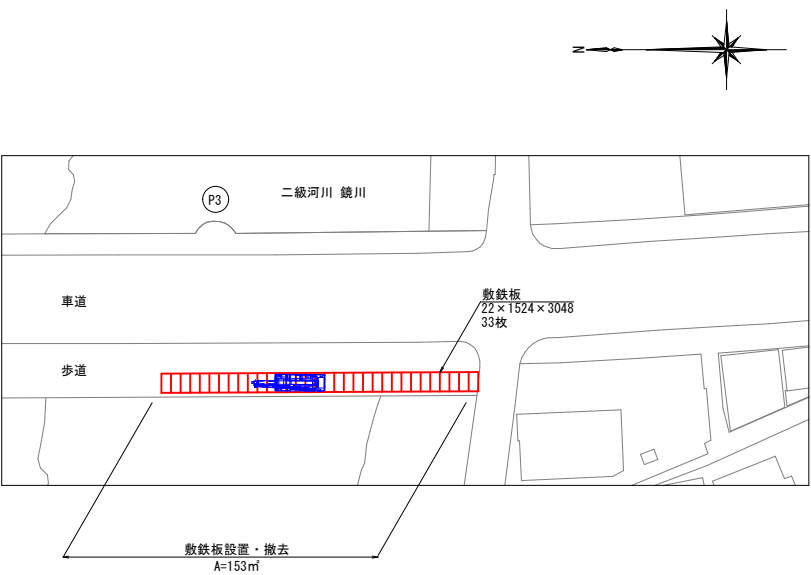


側面図
S=1:400

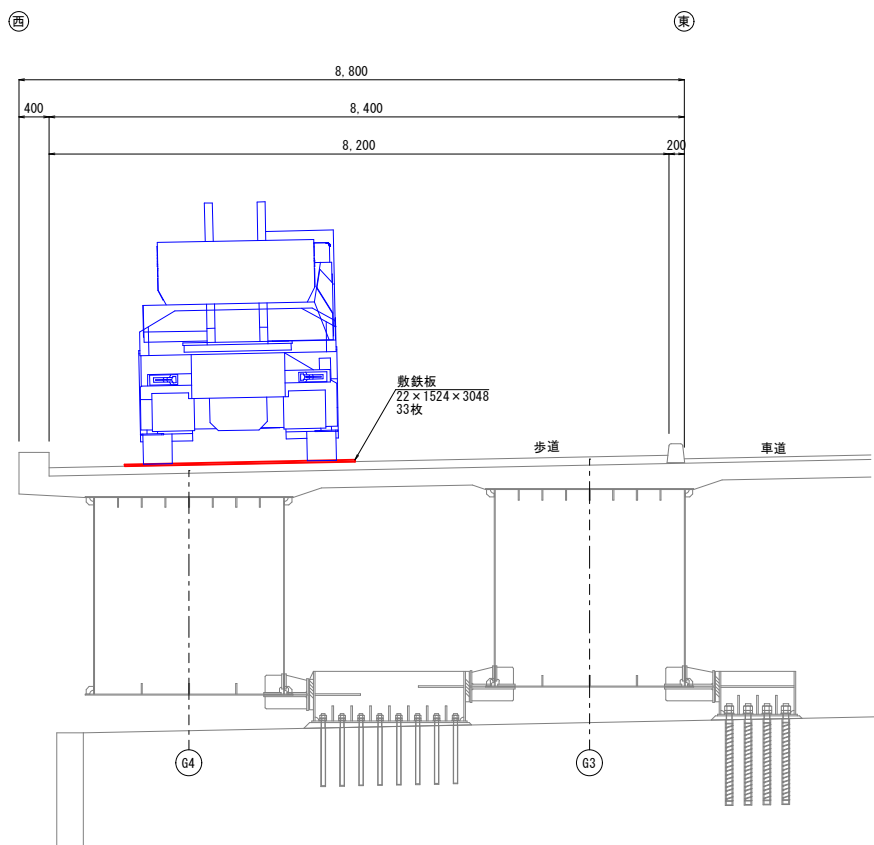


【仮設道工】

平面図
S=1:600



断面図
S=1:50



工 事 名	月の瀬橋耐震補強工事(その3)				
種 別	仮設工図(参考)				6 / 6
事 業 名	道路事業	課長	課長補佐	係長	設計
令和7年度					
高知市 都市建設部 道路整備課					